

# 令和5年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園  
聖ヶ岡幼稚園

当園ではこの度、令和5年度の学校評価として、教職員自己評価及び、関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、評価結果について話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。

この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

<目指す子ども達の姿>

自主性を持って様々な活動に取り組み、感性豊かに感じ、考え、行動することを楽しむ。

目指す子ども達の姿のために、日常の保育活動やカリキュラムの編成において、次の2点を常に意識して取り組みます。

- ①元気にのびのびと体を動かすことを楽しみ、素直で明るい心を育てること
- ②豊かな感性で気付く面白さ・考える楽しさ・行動できる充実感を繰り返し体験し学ぶことの意欲を育てること

子ども達が、安定した人間関係の中で生活や遊びを通して社会のルールや優しさと思いやりを身につけていけることを意識し、計画を立てて日常の保育に取り組みます。

## II. 今年度の重点目標

- 教育課程・指導計画の充実及び周知
- 公開保育研修の実施・充実
- 教職員の資質向上
- 全体会議の活性化
- 安全管理体制の強化

## III. 取り組み状況と今後の課題

自己評価項目		取り組み状況	
1	教育課程・指導計画の充実及び周知	B	教職員自身が日々の活動それぞれの意図や本質を考え、子どもたちの成長に即した指導計画へと応用していく。 季節に応じた歌を歌い、その年齢に合った振り付けでお遊戯をすることで、季節を感じ、リズムにのって、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わえた。絵画指導では、題材についての狙いを定めて、子ども達がのびのびと表現ができるように写真や実物を見せ、言葉がけも工夫した。
2	公開保育の継続実施	A	制作の勉強だけでなく、歌の指導や行事に向けての指導を公開保育で取り入れ、人それぞれの指導方法を見て学んだ。それにより、自分自身の表現の仕方や子どもへの接し方を再度振り返り、日々の指導に活かすことができた。また、他学年の保育を見ることで、違った視点での保育を学べ、学んだ内容を次の日の保育に生かすことができた。

# 令和5年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園  
聖ヶ岡幼稚園

自己評価項目		取り組み状況
3	教職員の資質向上	<p>教職員が視野を広げ知識を深めようとする姿勢を持ち、子ども達の興味や関心を引き出す工夫を行っていく。</p> <p>A</p> <p>月に一度行っている職員の歌唱やピアノの研修で沢山の役立つ内容を学び、子ども達に指導を行う際に活かすことができた。また、お絵かきや工作のテーマを決める時や指導をする時にはその題材について調べ、子どもたちの疑問に答えられるようにした。子どもたちが興味を持ち、その興味を広げられるよう、絵本や写真だけでなく時には実物を見せるように工夫をした。</p>
4	全体会議の活性化	<p>自らの意見に自信を持つとともに積極性を養い、他の教職員の考えも尊重して耳を傾けていく。</p> <p>B</p> <p>ひとつの議題に対して、一人の意見だけではなく皆で意見を出し合い、話し合い進めていた。先輩の職員が先に意見を言うのではなく、後輩の職員から意見を言うようにして、気兼ねなく思いを伝えられる場を作った。若手の職員は、少しでも自分なりに考えたことを先輩たちに伝えることができ、色々な意見があることを皆が学べた。</p>
5	安全管理体制の強化	<p>防災頭巾の取り扱いを周知徹底させるとともに、教室内外の危険個所の確認を定期的に行う。</p> <p>A</p> <p>避難時の人数確認、避難場所への誘導等、職員間の声掛け・連携が出来ていた。避難訓練に加えて、紙芝居を読んだり、「何か起こった時にどうすれば良いか」子どもたちに話をした。子どもたちは、防災頭巾の正しいかぶり方を身に付け、避難の約束事についてもしっかりと学ぶことが出来ていた。</p>

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## IV. 次年度の取り組むべき課題

1	教育課程・指導計画の充実及び周知	<p>絵画など、細かい指導案があるものだけでなく、それ以外の保育についても活動の意図を常に意識して、それに沿って保育を行う。</p>
2	公開保育の実施・充実	<p>他の職員のやり方をまねるのではなく、学んだり感じたりしたことを自分の保育でどう活用していくのかを考えて取り組めるようにする。いつも同じ活動の公開保育ではなく、その都度、違った活動を公開していくと良いのではないかとと思う。</p>
3	教職員の資質向上	<p>絵画において、もっと子どもの想像を膨らませたい時に「(画面が)寂しいから」「まだ描くところがあるから」と言うのではなく、どのような言葉がけて想像を膨らませ描けるように促し描いたものが生きてくるのかを考え話せるようにできると良い。</p>
4	全体会議の活性化	<p>どの職員も意見を言えるような雰囲気を作り、最善の方法を導いていきたい。しかし、その雰囲気づくりを取り違えると悪い意味で「何でも有り」という状態になる恐れもあるので、真摯に考え取り組めるよう、場のつくり方に配慮していきたい。</p>
5	安全管理体制の強化	<p>避難訓練で不審者対策や、バスの事故や熱性けいれん時の対応なども学ぶ必要がある。危険箇所が無いかの確認や遊具の点検を増やしていく。保育室の中や園庭、トイレ、廊下など常に清潔で安全を意識して観察する。</p>

## V. 学校関係者の評価

本年度、絵画や歌唱指導など、子どもたちが興味を持ち、表現力を促すのにいろいろな工夫をされているのだと思いました。目指す教育目標である～子どもたちの自主性・感情豊か～に沿って指導がされていると感じました。公開保育も、する側は改めて身の引き締まる思いでしょうし、される側は、自分だけでは見ることができない客観的な指導方法を学ぶことができ、スキルアップに繋がっているのだと思います。

園長先生はじめ先生方は毎日、指導・行事など1年間を通してとても大変ではあると思いますが、今後も子どもたちが健やかで心の強い成長の一助になっていただけたらと思います。

<評議員>

園の自己評価や取り組み状況について、熟考され適切に実施されていると思います。子どもから日々の出来事を聞く度に、園生活の中で先生や友達との過ごし方、挨拶、季節の歌や遊び、制作、体操指導、書き方や英語の時間など、たくさんを経験し、吸収している様子を感じられます。行事では子どもたちがのびのびと表現することを楽しむ姿、元気いっぱいの笑顔から達成感が感じられ胸がいっぱいになります。充実した保育や指導の積み重ね、先生方の熱い想いが伝わってきます。子どもたちのために日々、楽しい保育を探求し、誠実に関わって下さっている事が感じられ、安心して通わせることができる園です。

次年度の取り組むべき課題を心に留めながら、子どもたち一人ひとりが安心して楽しく過ごせる環境を整えるとともに、聖ヶ岡幼稚園の保育方針や伝統を大切に、これからも温かな雰囲気幼稚園であり続けてほしいと思います。

<保護者>

本年度の自己評価と取り組み状況について概ね保護者の立場からも違和感はありません。園の方針が入職間もない先生にまで浸透しており、園の教育活動には大変満足しております。

安全管理の点では、バスの置き去り事件が話題になりましたが、聖ヶ岡幼稚園のバスの運転手さんは、園児一人ひとりの名前はもちろんのこと、好きなことや近況まで把握されており、全く心配はないと感じております。

いくつかBと自己評価されている項目がありましたが、なぜAではないのか。どのように改善すれば良いのかが、保護者の立場では分かりづらかったです。子どもの個性に応じて適切に愛情をもって対応して頂けていることが子どもにとっても、安心して通える園になっているのだと思います。

<保護者>

以上